

# 特別展「法然と極楽浄土」

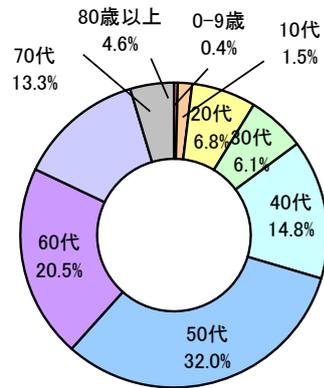
## アンケート集計結果

令和6年4月16日（火）～6月9日（日）（49日間）

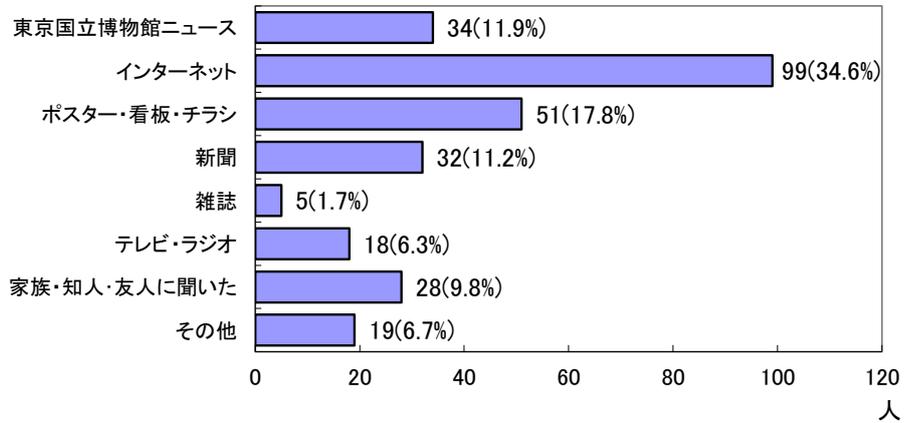
総入館者数：119,024人

回答者数：268人

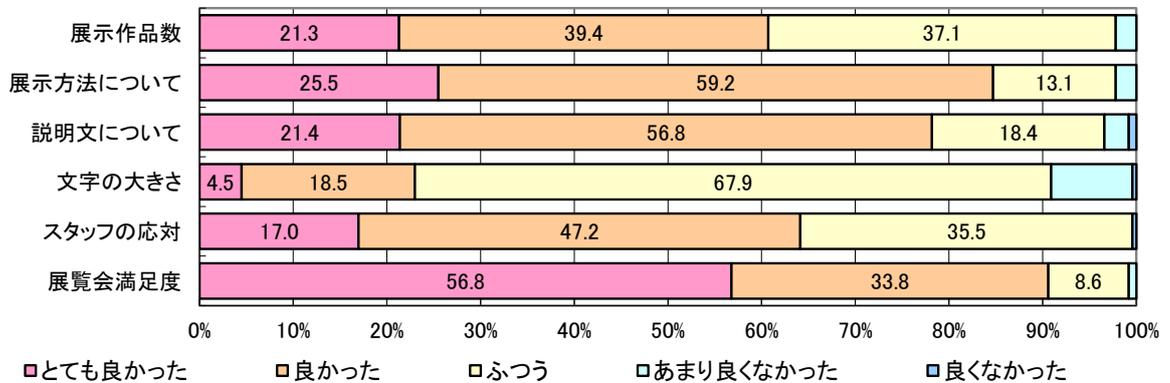
### ①アンケート回答年齢層



### ②認知経路（複数回答）



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・早来迎が見られてよかった
- ・時系列を追って見る事ができた
- ・仏涅槃群像コーナーで撮影ができてよかった
- ・作品に描かれている内容の詳しい説明や現代語訳があるとよかった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	2.2	0.0
展示方法	2.2	0.0
説明文	2.6	0.8
文字サイズ	8.7	0.4
スタッフの対応	0.0	0.4
展覧会の満足度	0.8	0.0

(%)

本展では、令和6年(2024)に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、法然による浄土宗の立教開宗から850年に及ぶ美術と歴史を、全国の浄土宗各派の諸寺院等が所蔵する国宝、重要文化財を含む貴重な名宝によって通覧しました。

修理後初公開の国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図(早来迎)」や、国宝「綴織當麻曼荼羅」、「仏涅槃群像」といった優品から、「選択本願念仏集(廬山寺本)」といった法然にちなむ資料、また東京会場では篤い帰依をしていた徳川將軍家の名宝や関東の浄土宗にスポットを当て、時系列に沿った展示をおこないました。本展は、京都国立博物館、九州国立博物館にも巡回します。

ご覧になったお客様からは、「『早来迎』を見られて良かった」など展示構成全般、撮影コーナーの設置など運営全般に対して、好評をいただきました。一方で、特に絵巻や書跡の展示に対して、「もう少し展示作品の内容説明や現代語訳があるとよりよい」とのご意見をいただきました。

今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境、来館者サービスの向上に努めてまいります。